

地震火山観測研究センター一年報 : 2003 年度版

<https://doi.org/10.15017/16955>

出版情報 : 九州大学大学院理学研究院附属地震火山観測研究センター一年報. 2003, 2004-11. 九州大学大学院理学研究院 附属地震火山観測研究センター
バージョン :
権利関係 :

主催した研究集会

「富士山の構造とマグマ供給系—長期に活動を停止している火山の事例研究として—」

日時：2004年2月26日 13:30–17:30, 2月27日 09:30-11:30

場所：東京大学地震研究所（第1会議室）

代表者：九州大学 清水 洋

所内担当教官：鍵山恒臣

○プログラム

2月26日

0. 挨拶 清水 洋

1. 富士山の低周波地震 鶴川元雄

2. 富士山の自然地震探査

2.1 「富士山の深部低周波地震と高周波地震の精密震源決定」 中道・鶴川・酒井・高木

2.2 「富士山の稠密地震観測と解析の中間報告」 中道・渡辺・他

3. 富士山の人工地震探査 及川 純

4. 富士山の電磁気探査 相澤広記（京大防災研）

5. GPSによる富士山周辺の地殻変動観測 村上 亮

6. 富士山における絶対重力観測 大久保修平

7. 掘削調査とマグマ 金子隆之

8. 噴火様式の進化—富士山のトレンチ調査から— 高田 亮

2月27日

1. 浅間山の噴火履歴とマグマ 高橋正樹

2. 浅間山の噴火と観測の課題 鍵山恒臣

3. GPS観測により明らかになった浅間山の地殻変動 村上 亮

4. 反射波および散乱波解析による雲仙火山のマグマ供給系のイメージング 渡邊篤志（九大院理）

雲仙科学掘削関連の研究集会

○雲仙科学掘削研究集会（合同分科会）

期 日：2004年3月9日

開催場所：九大地震火山観測研究センター・セミナー室

主 催：雲仙科学掘削プロジェクト

参加者：約30名

内 容：雲仙科学掘削プロジェクトによる研究成果について発表があり、今後の研究課題についての議論がなされた。